

〈様式2〉

## 令和5年度 体力向上における各校の成果(中学校)

越前市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	万葉	中学校	保健体育の授業では、iPadを活用した時間が多かったので、授業の中でも生徒は運動・スポーツを「する」だけでなく「見る」「支える」「知る」といった多様な関わりを持つことができた。iPadを活用した授業も3年が経ち、日常的に使用して授業をすることが定着してきた。
2	武生第一	中学校	授業でのICTの活用により、話し合い活動の時間が十分に確保できた。また、意見を口頭で伝えづらい生徒にとって、ICTを活用しての意見共有は効果的であった。専門家からの講話には説得力があり、生徒も食い入るように話を聞き、実生活に生かしたいと振り返る生徒が多かった。
3	武生第二	中学校	体育授業では、体育委員会が毎回行っている補強運動を見直し、再考する取り組みを行った。生徒自身の体力課題を自ら考え、確認することで自己を客観的に見つめ、強化すべき体力を意識しながら毎日の体育授業の補強運動を主体的に取り組むことができた。
4	武生第二中坂口分校		授業始めや部活動の中で持久力及び瞬発力系のトレーニングを継続したことにより、基礎体力が全般的に向上している。部活動で取り組んでいるフットワーク練習・多球練習に継続して1年間取り組んだことで試合における反復運動や反応も良くなり、地区大会でも分校として満足のいく成績をおさめることができている。運動の楽しさを充分に感じて授業や部活動に取り組んでいると考えられる。
5	武生第三	中学校	ICTを活用し、自己の運動の記録を映像や数値で確認することができ、運動の楽しさを味わえた生徒が増えた。 保健体育の授業以外にも昼休みなどに体を動かす生徒が多くなった。
6	武生第六	中学校	年度末に行った保健体育科独自のアンケートでは、「主体的に運動に取り組んだ」99%、「運動をすることは好きだ」88%、「体育の授業は楽しい」97%だった。 目標をもって個人または集団で考え話し合い、様々な活動に意欲的に取り組もうとしている生徒が多かった。
7	武生第五	中学校	タブレットを活用したグループ活動において、生徒同士で演技動画を録画し、お互いに評価をしたり、分析したりしたことで、技能の向上を図り、主体的な学びへと繋げることができた。自分の課題を発見し、意欲的に課題解決に取り組むことができるようになった。
8	南越	中学校	本校は陸上部が無いが、地区陸上と地区駅伝の大会に自主的に参加している。その中で、地区陸上では各競技や種目で入賞者を輩出することができた。 地区駅伝では男子・女子の部共に「4位」と陸上部がある学校にくらいつくこともできた。日頃の授業や部活動での取り組み成果が表れている。